

# 第18回 市美術展覧会



第18回白根市美術展覧会が6月2日から7日までカルチャーセンターサブアリーナで開かれました。今回は日本画など7部門に昨年を上回る、243点の作品が寄せられました。市展の主な入賞者は次のとおり。

- 市長賞** (日本画) 増田庄吉 (諏訪木) (写真) 渡辺平穂 (黒埼町)
- 議長賞** (日本画) 西村 稔 (みの口) (洋画) 渋谷文毅 (上塩俵) 金子善次郎 (月湯村) (書道) 薄田一哉 (能登) 成田さゆ子 (魚町) (写真) 木下信雄 (味方村)
- 教育長賞** (日本画) 木川久子 (諏訪木) (洋画) 山口ハル (小須戸町) 福島哲男 (高校前通) 金子一夫 (湯東村) (版画) 寺沢三夫 (七軒) (書道) 海津椿三 (能登) 登石ムツ子 (月湯村) 高橋光華 (五六の町) 水野佳代子 (中央通) 笹川キミ (味方村) 松沢祥山 (戸石新田) 小野汀花 (四の町) 吉田静江 (日の出町) 織原千翔 (二の町) 西方一幸 (能登) (写真) 小林秀一 (田中) 笹川良一 (魚町) (美術工芸) 井上玲子 (水道町)

# 第15回 さつき祭り



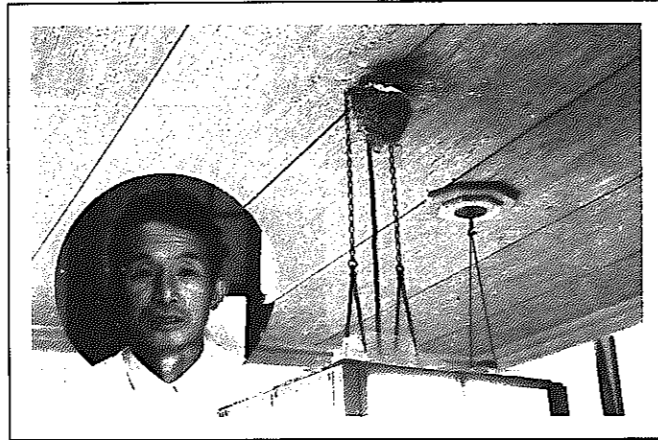
第15回さつき祭り展示会は5月26日から6月5日まで開催。会場の白根市農協駐車場はたくさんの愛好者でにぎわいました。審査の結果次の人が入賞しました。

- 〔銘花の部〕**
- 特別賞** 市長賞 星 定雄 (次郎右エ門興野)
- 金賞** 市議会議長賞 渡辺 操 (桜町5) さつき祭り実行委員長賞 渡辺豊成 (柳筋) 花卉園芸組合長賞 関川増一 (上八枚) 白根市農業協同組合長賞 片野吉市 (小蔵子) 庄瀬農業協同組合長賞 飯田芳男 (能登) 鷲巻農業協同組合長賞 時田貞男 (和泉) 県花木振興協議会長賞 星孝四郎 (次郎右エ門興野) 中蒲原農業共済組合長賞 吉村 昭 (下八枚)
- 〔銘木の部〕**
- 特別賞** 県知事賞 野崎 誠 (平湯)
- 金賞** 土地改良区理事長賞 小柳十四夫 (上大郷) 商工会長賞 田村繁男 (四ツ興野)
- 〔競技花の部〕**
- 金賞** 県さつき会会長賞 吉村 昭 (下八枚) 新潟日報社賞 若林 徹 (戸頭) 農業振興協議会長賞 長谷川松衛 (高井興野)

# ま ち

## 家族と同じです 二組のツバメ

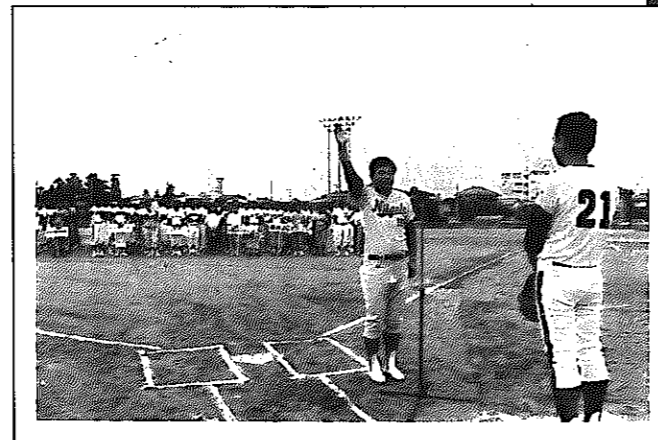
なんと座敷の蛍光灯の上にツバメが巣作り！ この家は戸頭の谷川基一さん(五十八歳)宅。昨年座敷を増築したところ、まだ出来上がらないうちに、家主よりも一足先に住みはじめたというこのツバメ。今年もまたやって来ました。谷川さん宅では玄関の廊下にも、もう一組のツバメが巣を作っています。「二組のツバメたちは家族と同じです」と目を細める谷川さん。お孫さんから「おれたちよりもツバメが大事？」と冷やかされるとか。ひなが巣立つまでは気が休まらなと、愛情のこもったまなざしを注いでいました。



## しゃんげんの勝利も ブロック野球大会

県下二十二の青年会議所が参加して、六月十日、諏訪木運動広場野球場など五会場で、青年会議所新潟ブロック野球大会が行われました。この大会はスポーツを通じて友情を深め合おうと毎年開かれていたもの。ここ数年天候に恵まれず、綱引き大会やバドミントン大会に振り替えられていたため、三年ぶりの「野球」大会となりました。

前日の雨であいにくのグラウンドコンディション。懇親会にエネルギーを温存する珍プレーも続出。じゃんけん勝利を手にしたチームもあり、和やかな大会となりました。

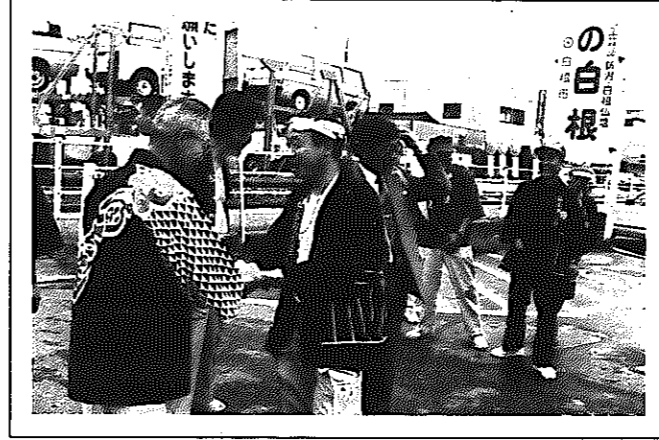


# の 話 題

## 凧のノウハウを学びに 仙台風の会と鯛町組

三年前から続いている鯛町組(魚町)と仙台風の会の交流。今年も一般市民を交えた二十三人が訪れました。早朝六時に仙台を出発したという皆さんは長旅の疲れも見せず、到着するやいなや直ちに合戦会場へ。鯛町組の応援に駆けつけます。

仙台市生田地区では毎年「フライハイおいで」という地域起こしの凧のイベントを開催。仙台風の会の浜弘二副会長は「白根の凧の魅力は、大凧と合戦です。鯛町組の皆さんのおかげで合戦の魅力が満喫することが出来ます。三百年の伝統のノウハウを学びたい」と話していました。

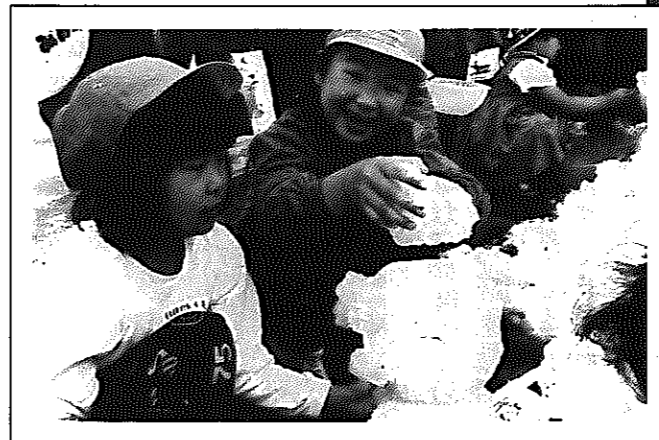


## 雪の山も出現!? 大凧合戦お祭り広場

今年で六回目を迎えた大凧合戦お祭り広場。六月三日の日曜日、好天にも恵まれ、親子連れなどたくさんの人出でにぎわいました。

・真夏のような日差しに、雑魚つかみプールは水しぶきを上げる子供たちでいっぱい。素早い魚の動きにつかまえられるまいよ」と悲鳴が上がります。

また、サークルゆにれっくの雪だるまを作ろうのコーナーには、早朝六時に能生町から保冷車で運んできたという雪の山が出現。大人も子供も雪の感触を楽しみながらかわいいう雪だるまを作っていました。



## 歌 姫の熱唱に大盛況 小林幸子チャリティーショー

六月十日「小林幸子チャリティーショー」がカルチャーセンターで行われ、昼夜それぞれ三千人を超すファンが詰めかけました。両親が驚き出身ということもあってか、前夜八時半から並んだ人もおり、午前五時には百五十人の行列。

ショーでは観客とデュエットしたり、客席に降りての大サービスマンにファンは大喜び。豪華な衣装にため息もこぼれます。歌姫の熱唱に拍手をするのも忘れて聞きほれたという人も。このチャリティーショーの売り上げの一部は文化スポーツ振興基金と高齢福祉のために寄付されます。



## 砂でいっぱい遊んでね 建設業協会青年部が川砂を寄付

白根郷建設業協会青年部の皆さんが、市内十四カ所の保育園にそれぞれ二トンダンプ一台分の川砂を寄付。園庭整備などに汗を流しました。

六月八日、庄瀬保育園では子供たちが待ち構える中、川砂が到着。見る間にできる砂の山に、大喜びで駆け上がります。作業の後、子供たちが作ったレイと花束をもらった青年部の皆さんは、思わぬ贈り物に笑顔がこぼれます。荏原会長は「子供が機械に興味を持って建設現場に近づいてきて、危険だから行きなさいと言ったことが多く、今日はその罪滅ぼしですよ」と話していました。

